

第3次徳島市環境基本計画、
地球温暖化対策推進計画策定のための市民会議

第5回会議 議事要旨

令和2年11月6日（金）午前10時～12時

エコみらいとくしま 2階会議室

1. 開会

大久保副部長

<副部長挨拶>

おはようございます。この度、11月1日付人事異動によりまして、環境保全課長を拝命いたしました大久保でございます。「第3次徳島市環境基本計画、地球温暖化対策推進計画策定のための市民会議」の開催にあたりまして、一言御挨拶を申し上げます。上月会長様をはじめまして、市民会議の委員の皆様方にはお忙しい中御出席いただきましたこと、また、計画の策定に向けまして御審議を重ねていただいていることに対しまして、厚く御礼を申し上げます。さて、これまでの4回に渡る市民会議におきましては、基本事項や目標、各施策の推進方法など、計画の詳細な内容につきまして御意見、御提言をいただいたところでございます。本日の会議では計画の素案を御提示できる段階までまいりました。本日はお示しさせていただいた素案について、様々な立場から忌憚のない御意見をいただければと考えておりますので、御審議のほどお願いを申し上げます。また、私自身に関しましては、年度途中、計画の策定途中での人事異動となりましたが、皆様の御指導をいただきながら、策定に向けて努力してまいりたいと考えておりますので、重ねてお願いを申し上げます。最後に、本市環境行政の推進に今後とも御理解、御尽力を賜りますようお願いを申しあげまして、御挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いたします。

2. 議事

事務局

<事務局より資料説明>

1. 第3次徳島市環境基本計画 素案

<質問・意見>

副会長

地球温暖化対策推進計画との関係ですが、表紙に「環境基本計画兼地球温暖化対策推進計画」とあります。「兼」と書くと、全体が両計画を兼ねているように見え

るので、「兼」という表現は誤解を招くと思います。また、2ページの「計画策定の背景」で、環境基本計画と地球温暖化対策推進計画との関係を記載して必要があると思います。

35ページの「計画の体系」の順番についてです。最初に「地球環境」、次に全体を支えている「生活環境」、最後に全体にかかる「環境学習、環境保全活動」となっていますが、33ページの図は「生活環境」と「環境学習、環境保全活動」が、「循環型社会」「地球環境」「自然、快適環境」を包含するような書き方になっています。全体を支える「生活環境」の順番に違和感があります。

最後に、39ページにだけ「コラム」があります。他のページにコラムはありませんが、これは何でしょうか。

事務局

「兼」の表記方法については御指摘のとおりですので、表現の変更を検討します。また、環境基本計画と地球温暖化対策推進計画の関係について、2ページ「計画策定の背景」で説明を入れるよう検討します。

それから33ページ「基本的目標及び施策の展開」の図については、「生活環境」を基盤として、「循環型社会」「地球環境」「自然、快適環境」を統合的に推進する、という内容になりますが、持ち帰って表示の仕方を検討します。

39ページのコラムについては、地球温暖化対策を推進する上で、「緩和策」と「適応策」の両輪で進めるということを説明するために掲載しています。

委員

13ページの大気のところについてです。一般環境大気測定局4局と排ガス測定局の5局となっていますけれども、もし高速道路ができた場合には、高速道路周辺に設置する予定があるのでしょうか。

また、同じページの騒音・振動になりますが、9地点では基準を達成しているようですが、あとの5地点では達成していないということですか。

事務局

まず、大気についてです。高速道路の建設等、道路事情が変わると思います。まだ予定はありませんが、今後、大気を担当している県と検討を進めたいと思います。

それから騒音について。御指摘いただきましたとおり、5地点が未達成になっています。道路の管理者等、ほかの機関と連携しながら施策を展開していかなくてはいけないと考えております。

会長

環境基準に達してないものの1つに光化学オキシダントがあります。

事務局

光化学オキシダントについては、原因の解明が今進められています。国の結果を

基に、今後の施策をどう展開していくべきか考えていきます。

会 長

徳島市だけを見るのではなく、俯瞰的に見る必要があります。全国的な状況も書いておいた方がいいと思います。

委 員

「将来世代とともに 希望あふれる未来を目指して」というサブタイトルがつけました。基本目標5に「次世代につなぐ、環境行動力の高いまち」があるので、次の世代につなぐ、というイメージかと思っていましたが、「ともに」は、一緒に取り組む、というイメージになります。それと、「目指す」は「目に指」と書くので、この表記を好まない方もいらっしゃると思います。

2点目は、イノベーションが起りやすい土壌作りや支援など、前向きな施策も入れてほしいと思います。

3点目です。私たちは市民会議の委員として集まっていますが、我々の役割は基本計画を作って終わりなのでしょうか。あるいは、計画が策定された後も何らかの形で関わっていくのでしょうか。

最後です。12ページに汚水処理人口普及率があります。下水処理人口普及率のピークが31.1%で、徐々に減ってきていますが、減っている理由があれば教えてください。

事 務 局

まず「将来世代と希望あふれる未来」については、「将来世代へつなぐことで、希望と笑顔あふれる未来の創造を目指します」ということで、「つなぐ」という意味合いを含めています。「目指す」の表記については、検討させていただきます。

イノベーションに対する支援等は今回の計画の中にはありませんが、市経済部局等と検討し、計画の見直しの中で施策が展開できれば、ぜひ取り入れていきたいと思っています。

市民会議委員との今後の関わり方についてです。本市では、環境基本計画に基づき環境報告書を毎年作成しており、御意見をいただくためのアンケートもあります。環境報告書は委員の皆様にご送らせていただき、引き続き皆様から御意見をいただきながら、計画を推進していければと考えています。

それから、徳島県の汚水処理については、下水処理場で下水処理を進めるという方針でしたが、工事がなかなか進まないという問題があり、最近では、各家庭で合併処理浄化槽を設置する、という流れにあります。そういった事情もあり、下水道処理人口普及率が頭打ちになり、浄化槽人口普及率が増えていくと思われます。

会 長

合併浄化槽は、法定検査をきちんと受けてもらうことが課題だと思います。

あと、イノベーションに対する支援とは、市として補助金等を出すだけではなく、環境技術が優れた企業を市からも応援する等の施策を考えてほしいと思います。

もう一つは、市の次期総合計画（仮称）の策定会議の中で、自然環境を使った観光推進等が出てくると思いますので、環境基本計画の中で、自然環境の利活用等、環境の部分の魅力を挙げていくことは大事なことだと思います。基本目標3「快適で安らぎのある、自然と人が共生できるまち」の中の、「良好な景観形成の推進」から一歩進んで、「魅力ある」、「誇りを持てる」など、自然環境を守っていくための施策が必要だと思います。

委 員

浄化槽の場合、業者との契約の保守点検ものと法定検査、汚泥を処理するための清掃と、費用負担が伴うものが3つあります。必要性をしっかりとPRする必要があると思います。

会 長

浄化槽の仕組等のコラムがあったらいいと思います。

委 員

家庭部門、業務部門の温室効果ガス排出量が増加傾向にあります。目標を達成するためには、これらの部門の削減に力を入れていかないといけない。家庭部門は市民の取組の結果ですから、「家庭部門の削減を頑張りましょう」の一文を加えればいいと思います。

事 務 局

文言を入れるかどうかにつきましては、持ち帰って検討させていただきます。

会 長

一人当たりの数字を全国値と比べてはどうでしょうか。自分ごとにできる数字を出したほうがいいと思います。

それと、それぞれの対策の削減効果を積み上げたら40%になる、という数字がほしいです。市民や事業者の方が、どんな対策をどれだけ実施すれば目標に近づいていくのかという数字を示してほしい。

事 務 局

部門ごとに様々な要素と対策を積み上げたものが40%という数字です。会議では細かい積み上げデータをお示ししましたが、それを計画に記載するとなると、かなりボリュームが出てきます。持ち帰って検討させていただければと思います。

委 員

今の話と関連しますが、どういう仕組で温室効果ガスが発生するのか分からない人もいると思います。どういう場合に温室効果ガスが発生するのかを伝えなければ、温室効果ガス40%削減と言われても、ピンとこない。わかりやすい説明を入れてほしいと思います。

事務局
委員

市民のみなさんが見て、分かりやすい絵を入れることを考えています。

1点目、環境基本計画の周知について。可能であればキッズ版も作成していただきたい。自分たちがどう行動すべきか、子ども目線の教材等を作成し、教育現場で活用することが必要だと思います。また、市民全員が必ず目にできるようにしてほしい。教育現場から子どもたちを通じて発信できるような、徳島市の現状や課題等を盛り込んだリアリティのある教材等を作ったらいいと思います。

もう1点が、先日、次期総合計画（仮称）の策定会議に参加しました。そちらでも、水や緑を中心としたまちづくりを推進していきたいというお話がありました。市民が楽しむだけでなく、徳島市の自然環境の魅力を外部にも発信できるようなまちづくりが必要になると思います。

事務局

概要版として、キッズ版のような、子どもでも分かりやすい冊子の作成も検討したいと思います。

それから、自然環境が豊かな徳島市という特性を活かして計画を推進していきたいと思います。

委員

基本目標5だけSDGsの関わりの図がありません。学校としてどこと繋がって取り組んでいけばいいのかを示してほしいと思います。

事務局

出前環境教室という事業を行っており、そこで学校との繋がりを持っています。今後もよりよい形で繋がりを持っていけるように見直しをして、環境教育の繋がりを拡大したいと考えています。

会長

定量目標について、なぜこの目標値になっているかの説明がほとんどありません。そういった説明はどこかに書いた方がいいと思います。

委員

光化学オキシダントについては、予測モデルがあり、濃度がどれくらいかというのは機械的に計算し、そこに知見や経験等を加味して予測を出しますが、当たらないこともあります。近畿の例ですが、日中海風が強いと、海風によって物質が内陸の方に運ばれ、大阪や神戸ではなく、京都や滋賀県の方が高濃度になることもあります。なので、オキシダントについては、難しい面があり、現状ではこのような書きぶりにならざるを得ないと思います。

委員

市民アンケートの結果が載っているので、市民からの要望が多いものを市の施策として取り入れていただきたいと思います。

委員

いろいろな意見がたくさん出ていますが、計画にどれだけ細かく書けるかという

問題もあると思います。大まかに決めたことを、細かく市民に伝えていくことも重要な行政の仕事だと思います。

委員

市民アンケート結果で、「環境家計簿をつけている」が9.3%と、実行率が非常に低くなっています。私は環境家計簿で電気代が高いことに気付いて家電製品を買い換えたところ、電気代が半減して電気の無駄遣いに気付くきっかけになりました。

こういったことを子どもたちに教えることが必要だと思います。省エネ製品買換えナビゲーション「しんきゅうさん」等を使ってゲーム式に、小学生に向けた出前環境教室など、子どもを通じた啓発活動を推進していただければと思います。

オブザーバー

地球温暖化は変動が激しい分野で「環境と経済の好循環」や「自然環境の環境利用」等、新しいものが入ってきています。この基本計画は、計画期間が長いことと、排出抑制だけで40%削減と、全国的にも高い目標値だと思います。計画の見直しをしなければ対応しきれないと思いますので、中間見直しをするよう明記すればいいと思います。

会長

地球環境の分野は新しい言葉や概念、技術が生まれたり、生活スタイルが変わったりするので、見直しを行うことは必要かと思います。

では、事務局より今後の予定をお願いします。

事務局

議会報告後、パブリックコメントを実施して、計画の策定となります。パブリックコメント後に、第6回会議の開催を考えていますが、あまり内容に変更がないようであれば、開催自体がなくなるかもしれません。

それではこれをもちまして、「第3次徳島市環境基本計画、地球温暖化対策推進計画策定のための市民会議 第5回会議」を終わらせていただきます。